

高等学校 第2学年 地理歴史科学習指導案

1 実施日時：平成23年11月10日（木）5限目 2年〇組教室にて

2 指導者：〇〇 〇〇

3 科目名：地理B

(ア)単元名：資源と産業

(イ)単元の目標：

- ・ 世界の資源、産業について、資源・エネルギーや農業、工業、流通などの視点から系統地理的にとらえることができる。

(ウ)単元の総学習時間数：20時間（本時 16／20）

(エ)本時のテーマ：「農産物の生産と流通のしくみについて理解する」

(オ)本時の目標：

- ・ 農牧業の成立条件のうち、自然的条件について気候や地形の観点から理解できる。
- ・ 農牧業の成立条件のうち、社会的条件について理解できる。特に市場への距離や経営の形態に関しては集約的と粗放的、土地生産性と労働生産性を重視する。

(カ)授業のポイント

<キャリア教育の視点に立って授業へ期待すること>

- ・ 農業の生産と流通のしくみについて、特に社会条件を重視しながら授業を展開することで農業が自然との関係だけで決まるのではないということに気付かせることができる。
- ・ 農業はあくまで産業の一つである、ということを理解させることで、他の産業についても様々な要素から成り立っているのだということに気付かせることができる。
- ・ チューネンの『孤立国』について考えさせる中で、実際の社会に出たときに体験するような「意思決定能力」や「人間関係形成能力」を身に付けることができる。

<留意点>

- ・ 他の産業（林業、水産業、鉱工業等）も同じ自然条件と社会条件から成り立っていることに気付かせるようにする。

4 本時の計画

過程	学習活動	指導上の留意点	キャリア教育の視点で生徒が身につける能力	評価・備考
導入	1 本時の学習内容を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> 農業の成立条件が自然条件だけでなく、社会条件からも成り立っているということに気付かせるため、具体例を示しながら考えさせる。 	展開で使用する統計資料から、必要な情報を主体的に選択、活用できる。 【情報活用能力】	
展開	2 自然的条件について考える。 ・気候条件 ・地形 ・土壌 3 社会条件について考える。 ・民族の伝統 ・生活様式や生活習慣の相違 ・市場への距離 ・経営の形態 ・農業政策	<ul style="list-style-type: none"> 各事項について深入りしすぎない。特に気候分野で扱った内容に関しては確認するに留める。 市場への距離についてはチューネンの『孤立国』を用いて複数で考えさせる。また、経営の形態については特に土地生産性や労働生産性の概念をおさえた上で、実際の農業経営を例に取りながら詳しく説明する。 	農業を産業という視点で捉え、あくまで農産物を通して収入を得るための手段だということに気付く。 【情報活用能力】 【将来設計能力】 市場への距離や地価によってどのように農業立地が変化するかについて考察し、友人の意見も聞きつつ、自分であればどこで農業を行うか、といったことを意思決定できる。 【意思決定能力】 【人間関係形成能力】	自然的条件について、前單元までの知識を思い出しながら理解することが出来る。 【知識・理解】 社会条件について、市場への距離を判断材料にどこに農業が立地するかを考えることができる。 【思考・判断】 経営の形態について、理解することができる。 【知識・理解】
まとめ	4 本時のまとめを行う。	<ul style="list-style-type: none"> 他の産業（林業、水産業、鉱工業等）も同じ自然条件と社会条件から成り立っていることを強調する。 		